

仙台市介護保険審議会 地域密着型サービス運営委員会（第5期計画期間 第12回会議）議事録

日時：平成27年3月25日（水）13:30～

場所：市役所本庁舎2階 第4委員会室

<出席者>

【委員】

阿部一彦委員、板橋純子委員、太田雅夫委員、小笠原サキ子委員長、小坂浩之委員
土井勝幸委員

以上6名、五十音順

（阿部淳子委員、草刈拓委員、田口美之委員 欠席）

【仙台市職員】

高橋健康福祉局保険高齢部長、米内山高齢企画課長、草薙介護予防推進室長、
宮野介護保険課長、後藤青葉区障害高齢課長、小口高齢企画課施設係長、
阿部介護保険課管理係長、高橋介護保険課主幹兼介護保険係長、
中野介護保険課指導第一係長、熊谷宮城野区障害高齢課介護保険係長、
田村若林区障害高齢課介護保険係長

<議事要旨>

1. 開会

会議の公開、非公開の確認 議事については非公開 → 異議なし

議事録署名委員については土井勝幸委員を指名 → 土井勝幸委員了承

2. 報告

- (1) 小規模多機能型居宅介護（建設費補助なし）、複合型サービス及び認知症対応型通所介護の募集結果について
- (2) 地域密着型サービス事業の廃止について
- (3) 施設の整備状況について

委員長：今の報告について、質問や意見はあるか。

（質問等なし）

3. 議事

(1) 地域密着型サービス事業者の指定について

事務局より説明

委員：グループホームの指定についてだが、介護員の不足から1ユニットで開所する案件はあるか。

事務局：過去、2件ほど介護員の不足から1ユニットで指定する案件があったが、今回指定する案件についてはそのようなものはない。

委員：グループホームにおいても敷金を徴収するのが一般的になってきているのか。

事務局：グループホームについても一般的な賃貸住宅と同様に敷金を徴収して修繕費や未払家賃に充当する事業所は増えてきている。

委員：参考資料4-5について、富谷町に近いが富谷町の町民に対するサービスの提供も考えられているのか。

事務局：定期巡回・随時対応型訪問介護看護は地域密着型サービスであるので、基本的には富谷町の被保険者の利用は想定していない。

委員：グループホームについて、生活保護受給者についても敷金は必要になるのか。

事務局：各事業者において判断する事項ではあるが、生活保護受給者については敷金の支払いを不要としている事業者もいる。

委員：今回指定する定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の中で、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅を併設している事業所は何箇所あるのか。

事務局：有料老人ホーム併設が2箇所、サービス付き高齢者向け住宅併設が1箇所、ケアハウス併設が1箇所である。

委員長：他に質問がなければ、この資料にある事業者を指定してよいか。

(異議等なし)

(2) 地域密着型サービス事業者の指定更新について

事務局より説明

委員：地域密着型のサービスについては2か月に1回の運営推進会議の開催が義務付けられていると思うが、具体的にどのような方が参加されているのか。

事務局：町内会の役員や地域包括支援センターの職員、民生委員などが主な参加者である。また、入居者や利用者の家族も参加している。

委員：運営推進会議が開催された場合は仙台市に定期的に報告がされているのか。

事務局：定期的な報告はないが、実地指導において開催状況の確認を行っている。

委員：小規模多機能型居宅介護事業所において参加者が1人または2人のみで会議を行っている例もあると聞いている。そのような事例が実際にあった場合には指

導の対象などになるのか。

事務局：実地指導で書類を確認している中では極端に参加人数が少ないような事例は確認されていない。ただ、書類上だけ整っており実態は参加人数が少ないというような形骸化が起こっているには問題があるので、実地指導において指導していくこととなる。

委員：特に小規模多機能型居宅介護について、そのような事例が起きないように気を付けていただきたい。

委員長：質問がなければ、この資料にある事業者の指定の更新をしてよいか。

(異議等なし)

4. その他

委員長：委員から質問や意見はあるか。

委員：資料1について、小規模多機能型居宅介護の事前申出がなかったとのことだが、仙台市として補助金ありの募集を増やすことは検討しているのか。

事務局：今回、12月～2月の事前申出期間には事前申出が無かったが、今年度中は事前申出が3件ほどあった。これが仮に全く応募が無いとなると、補助金ありの募集を増やすことも検討する必要があると思うが、現段階では補助金ありの募集を増やすことは考えていない。

委員長：最後に事務局から何かあるか。

次回開催について、事務局より説明